

9月15日は 敬老の日

おじいさん、おばあさん
いつまでも お元気で

九月十五日は「敬老の日」。また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。お年寄りは、これまで永年にわたって社会のために働いてこられました。ご長寿を心からお祝いします。これからも経験と知識を社会に役立ててほしいものです。市内では、七十五歳以上の方が一、六四二名いらっしゃいます。いつまでもお元気で過ごしてください。

市では、今年も七十五歳以上をお招して各地区で敬老会が次のとおり開かれます。

敬老会の日程

- ◇ 深川地区
9月13日(月) 深川小体育館
 - ◇ 仙崎地区
9月14日(火) 仙崎小講堂
 - ◇ 俵山地区
9月16日(木) 俵山中体育館
 - ◇ 通 地区
9月17日(金) 通 公民館
- ※開会時間は各地区とも10時から

お年寄りに お手紙を

年離れたご両親へ。また、お孫さんからおじいさん、おばあさんへ。心のこもったお便りを出しましょう。一通の手紙がお年寄りにとっては、すばらしいプレゼントになると思います。

国民年金には 任意加入の制度 があります。

サラリーマンの奥さんや学生さんも希望して国民年金に加入することがあります。サラリーマンの奥さんは、主人が加入している年金制度から間接的に保護されていますし、学生さ

んは老齢年金については、卒業してからで十分だと考えられています。このように国民年金の強制加入の対象からはずされた人があります。したが、このような人ご自身が年をとったり、障害者となっても年金は支給されませんので、主人を通じての保護だけでは不十分といえます。また、学生さんが在学中に病気や事故にあつて障害者となつても、その障害については、年金での保障は一生ありません。任意加入制度は、このような方々の救済措置として、つくられた制度です。国民年金に任意加入してよかつた、そんな例が多くあります。老後対策としてはもちろん突然の事故に備えるためにも任意加入をおすすめします。詳しくは、市民課国民年金係へ。

九月一日は防災の日

煙による死者が
火傷死を上回る

最近の火災は、「炎」の被害から「煙」の被害へと変わってきました。これは建物の気密性が高くなる一方で、火災時に（有毒性・爆燃性（爆発的に燃焼する性質）の強いガスを多量に発生させるプラスチック類などの石油製品が増えているためです。

煙が火の玉に

昭和三十六年版の消防白書にも「一酸化炭素中毒又は窒息死が五百二人（全焼死者の四〇・五％）となっているが、火傷死（六百四十九人〱五一・四％）の中にも、出火時、煙にまかれて倒れ、死に至つたものが相当数あるものと考えられる」と記されており、実際には、煙による死者が火傷死を上回っているようです。「煙」はまさに現代の「死神」と言えそうです。

ガスの種類によって燃える度合いも違いますが、ナイロンなどの化学繊維が燃えたときに出るガスの煙では、火の玉状となります。

素早く煙から逃げる

煙から避難するには、できるだけ低い姿勢で、ぬらしたハンカチやタオルを口にあて、深い呼吸はしないで、素早く安全なところに避難することです。

意外に速い煙のスピード

火災時に発生した煙は、毎秒三から五メートルの速さで上昇します。横への広がりも秒速〇・五から一・〇メートルと、煙の動きは意外に速いので油断は禁物です。また、煙の通り道は階段や廊下だけにとどまらず壁のすき間や配管スペースの中など思わぬ所にまで



ふく処理師 免許講習会の開催

- ◇開催日
昭和五十七年十月八日（金）
- ◇開催場所
萩青年の家
- ◇受講資格
条例の施行前に五年以上業としてふくの処理を行なった者
- ◇受付期限
昭和五十七年九月九日まで
- ◇申込方法
必要書類に手数料（三、〇〇〇円）を添えて、長門保健所へ提出してください。

※詳しくは、長門保健所でおたずねください。

☎ 2811

職業訓練生の募集

小野田技能開発センターでは、次のとおり十月入校生を募集しています。

- ◇募集職種
溶接科、自動車整備科、電気機器科、ブロック建築科、配管科、塗装科
 - ◇訓練期間
一か年
 - ◇募集期日
昭和五十七年九月十六日まで
 - ◇入所資格
離職職者
 - ◇受講料
無料
- ※詳しくは、公共職業安定所におたずねください。